

## □■養成所ニュースプラス第2号 2023□■

新型コロナウイルス感染症の「感染症法」の位置づけが、これまでの新型インフルエンザ等感染症（2類相当）から5類感染症に移行しました。基本的感染対策は個人・事業者の判断に委ねられます（一定の場合にはマスク着用を推奨）。マスクの着用をはじめ、社会では予防対策の緩和が進んでいますが、今も新規感染者は発生しています。福祉施設でもそれぞれの判断が求められています。

さて、今回の「Plus Quiz」は、「人体の構造と機能及び疾病」（現、医学概論）から感染症についての問題です。正解だけでなく、選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるかも考えてみましょう。

### ■Plus Quiz・・・・・・・・

【第34回問題3】感染症に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. ノロウイルスの潜伏期間はおよそ14日である。
2. インフルエンザは肺炎を合併することがある。
3. 肺炎はレジオネラ菌によるものが最も多い。
4. 疥癬（かいせん）の原因はノミである。
5. 肺結核の主な感染経路は飛沫（ひまつ）感染である。

正答と解説は最後に記載してあります。

### ■Yoseijo Info・・・・・・・・

- ・(34期生) 教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の支給希望の方へ  
申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。  
本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。
- ・(35期生) 教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の支給希望の方へ  
「受給資格者証と公的身分証明書のコピー」の提出をされていない方は、早急に提出してください。
- ・(35期生) 見込書類（実務経験証明書）のさしかえについて  
入学願書提出時に「実務経験見込証明書」を提出している方は、入学資格または実習免除を満たした期間の「実務経験証明書」の提出が必要となりますので、早急に提出してください。
- ・受講の手引の表紙裏（表紙の次のページ）に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。  
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

### ■Test Info・・・・・・・・

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第36回国家試験は、令和6年2月上旬です。  
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1068557&c=3246&d=99c7>
- ・日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の全国統一模擬試験のご案内です。  
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1068558&c=3246&d=99c7>

### ■Plus Info・・・・・・・・

その他の情報をお届けします

- ・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。  
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1068559&c=3246&d=99c7>

## ■Back Number . . . . .

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1068560&c=3246&d=99c7>

## ■Plus Column . . . . .

### 【レポート作成講座第2号／レポート課題と対話する】

レポート課題で何を問われているのか、担当教員は何を評価するのか、それを示しているのが<レポート作成のポイント>です。課題文だけではなく、何を求められているのかを必ず受け止めてから始めましょう。

また、<レポート作成のポイント>は、課題の内容だけでなく、留意すべき点も示しています。1学期の科目を見ていきます。「医学概論」の課題番号2では2つの点を「簡潔に」まとめることとあります。一つの内容について書きすぎると他の内容が書けなくなります。必ずバランスを確認してください。

「心理学と心理的支援」課題番号1では「あなた自身の経験を交えながら」、課題番号2では「具体例とともに述べること」、「ソーシャルワークの理論と方法1」では、「自身の実践やテキスト事例、報道事例等から具体例をあげ説明すること」、「社会学と社会システム」課題番号1では「自分が関係している具体的な組織・集団を分析し、最後に考察を加えること」とあります。経験や具体例、事例がないレポートは不合格になります。事例をもとに知識や価値・倫理をもって考察することは、ソーシャルワークの学びでもとても大切な過程になります。この機会を大事にしましょう。

最後は、どのように述べよとされているのかを確認します。「〇〇について述べなさい」「具体的に述べなさい」「事例を用いて説明しなさい」などがあります。「あなたの考えを述べなさい」とある場合は、論理の飛躍や「決めつけ」がないか点検しましょう。他人の考えと自分の考えは分けて書くようにします。テキストの丸写しは、「あなたの考え」ではありません。

「受講の手引」には「課題を理解すること」は、出題者の言っていることを「傾聴」することと示しました。傾聴という技術を使い、レポート作成を進めてください。

既に作成した方も再度の点検をお勧めします。今回は文章作法についてお伝えします。

### 【Plus Quiz . . . . . 正答と解説】

「伝染病予防法」にかわり、1999（平成11）年に「感染症法」が施行され、2007（平成19）年には「結核予防法」と統合されました。患者の人権を配慮した感染症対策がとられています。「感染症法」では、症状の重さや病原体の感染力などから、感染症を一類～五類の感染症と指定感染症、新感染症、新型インフルエンザ等感染症に分類し、危険度に対応した対策を可能としています。日本の新型コロナウイルス感染症の対応も、法から理解することができます。

国家試験では、感染症の発生原因、感染経路、潜伏期間、感染予防方法、治療薬等が問われます。共通科目テキスト「医学概論」第4章、第6章第1節、第7章を確認しておきましょう。また、感染症法上の分類や対応は、厚生労働省ホームページに詳しく掲載されています。

「人体の構造と機能及び疾病」の国家試験の頻出項目としては、(1) 人体の基本構造 (2) 成長と老化 (3) 高齢者に多い疾病や障害 (4) DSM-5 分類 (5) 健康の概念等が挙げられます。

1. ×ノロウイルスの潜伏期間は1～2日間で10～4月に集中発生します。感染経路は経口感染で、ウイルスが蓄積した二枚貝や感染者の糞便や吐物に汚染されたものから感染します。アルコール消毒は効果がなく、次亜塩酸ナトリウムが有効です。

2. ○インフルエンザウイルス感染症は、肺炎の合併もあります。A型、B型の潜伏期間は1～3日間で感染経路

は飛沫感染か接触感染です。一般のインフルエンザは5類感染症です。

3. ×普通の生活の中で発症した肺炎は、肺炎球菌やインフルエンザウイルスによるものが多くレジオネラ菌によるものは約5%です。感染経路は、接触感染、飛沫感染で肺炎球菌の潜伏期間は1~3日間程度です。

4. ×疥癬の原因はヒゼンダニの皮膚への寄生です。潜伏期間は通常の疥癬では1~2ヶ月ですが、感染力の強い角化型は4~5日間で、短時間の直接感染や寝具等の間接接触でも感染するため、寝具等は50度以上の湯に10分以上漬けて消毒します。

5. ×肺結核の感染経路は、結核菌の浮遊する空気を吸い込む空気感染と接触感染で、潜伏期間は半年から2年間です。2類感染症であり、診断した医師は直ちに最寄りの保健所に届け出る義務があります。

※感染症・食中毒については、「人体の構造と機能及び疾病」第28、29、34回で出題されています。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus